

2009年1月1日

(第23号) 冬号

獨協医科大学病院だより

— Dokkyo Medical University Hospital News —



日本医療機能評価機構



日本医療機能評価機構認定病院

平成21年(2009年)

1月



第23号

新年のご挨拶

病院長 北島 敏光



新年にあたり、大学病院を代表して謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、日頃当大学病院をご支援・ご支持いただきありがとうございます。衷心より感謝申し上げます。

当大学病院はわが国でも有数の規模を誇る医療機関であり、北関東医療圏の基幹病院として位置付けられています。昨今の政府による医療費削減政策、医師・看護師不足、産科問題など、医療環境がますます厳しい状況の中で、当大学病院は高度な医療を提供すべく努力してきました。昨年は、当大学病院の医療の質を第三者機関に審査していただくために、日本医療機能評価機構による病院機能に関する現況調査を受審しました。これは1995年に厚生省、日本医師会、日本病院会などの出資で設立された財団法人で、病院の機能を中立的な立場で評価し、当該病院の問題点を指摘して改善を促す第三者機関です。非常に厳しい審査基準で、同機構から認定される割合は大変低いことが知られています。「病院組織の運営と地域における役割」、「患者の権利と安全の確保の体制」、「療養環境と患者サービス」、「医療提供の組織と運営」などに関する数百の項目について、3日間に亘り書類審査、面接調査、各部署の訪問審査を受けました。その結果、当大学病院は安全で質の高い医療を提供する病院として、日本医療機能評価機構から認定証が交付されることとなりました。

近年、当大学病院に隣接されるように北関東自動車道の壬生インターが開設され、周辺環境が著しく整備されました。北関東自動車道は、群馬県の高崎JCTを起点として、栃木県を經由して終点である水戸南ICに至る総距離145.2キロメートルの高速道路で、2011年に全面開通が予定されています。これが完成となると、北関東地域の主要都市が高速道路で結ばれ、さらに東北自動車道、関越自動車道、常磐自動車道とも接続されます。昨年12月には、念願であった北関東自動車道の茨城県側が水戸まで全面開通しました。また、壬生インターから当大学病院までの直線道路も近く完成となる予定です。これに伴って当大学病院では外来駐車場の整備を行い、患者さまの便宜を図りたいと考えています。その際は、皆様のご協力をお願い致します。

新聞報道などでご存知の方も多いと思いますが、栃木県ではドクターヘリの導入が検討されており、ヘリポートの設置場所として当大学病院が有力視されています。昨年県内で救急車によって搬送された患者数は63,944名であり、そのうちドクターヘリが必要であったのは376名と推計されています。救急ヘリコプターの導入によって、迅速な救急医療による救命率の向上と大規模災害への対応が可能となります。また、山間部での救急医療や自然災害時なども、ヘリコプターで重篤な患者さまの発生した場所に医師ならびに看護師を派遣して初期治療を行うことにより、救命率の著しい向上が期待できます。当大学病院では栃木県からドクターヘリの設置を要請された場合は、病院の東側にヘリポート等を整備し、消防隊あるいは医療機関から出動要請を受けた時は、直ちにその要請に応じられるようにしたいと考えております。

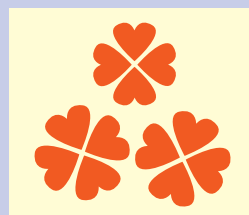
本年は、昨年に引き続き病院のリフォームが継続されます。病院1階の西側に配置する胸部外科、呼吸器・アレルギー内科、心血管・肺内科、循環器内科、皮膚科、形成外科の工事を5月までに完了させ、次いで病院2階にある精神神経科、血液内科、内分泌代謝内科のリフォームを9月までに終了させる予定です。その他の科は今年度中に工事を完了させます。患者さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

最後になりますが、当大学病院では特定機能病院として地域医療に貢献すべく教職員が一丸となって頑張っています。また、地域の医療機関とはより一層強固な連携医療の構築を目指して行きたいと考えています。皆様におかれましては、ぜひとも、当大学病院を引き続きご支援いただきますよう衷心からお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

身近な病気 Q&A



胆石症について



第二外科 助教 岩崎 喜実

胆石症は欧米型食生活や飽食の時代背景とともに、ますます増加中の疾患であります。加齢とともに胆石保有率は高くなり、70歳を超えると約20%の人が胆石を保有しています。無症状の胆石は経過観察されることもありますが、ひとたび発作を起こすと治療に難渋することもあり、軽視できない疾患であります。



胆石症の原因は？

加齢、肥満、女性、妊娠、過激なダイエット、高コレステロール食の食習慣の人に胆石が好発します。胆道内慢性細菌感染、胆嚢収縮能の低下、胃切除術後や心臓弁置換術後にも胆石を生じやすく、肝硬変や先天性溶血性貧血の持病がある人にも多いことが知られています。



どんな症状がありますか？

食後2時間から3時間後に、上腹部からやや右側の腹痛が多いですが、右背部や右肩が痛むこともあります。腹痛と共に吐き気や嘔吐を伴うこともあります。発熱(38℃以上の高熱)や黄疸を伴うこともあります。黄疸になると尿の色が褐色調になったり、目が黄色く変色してきます。



どんな検査がありますか？

血液検査では胆管炎や胆嚢炎を併発していないか調べます。炎症の程度を反映する白血球数やCRP値が高くなります。胆管炎を伴っていると、肝機能障害 (AST, ALT, アルカリフォスファターゼ, γGTPが高値) が認められます。

腹部超音波検査 (エコー) は安全で、胆石を明瞭に認めることが多く、スクリーニング検査として定着しています。

CT検査は石灰化が強い胆石は明瞭に認めることがあり、造影剤を使用することによって、より精密な検査をすることができます。

MRI検査は腹部超音波で盲点となりやすい胆管内の検査に優れ、総胆管結石の診断に有用です。

内視鏡的逆行性胆道造影検査 (ERCP) は最も精度の高い検査ですが、侵襲があり、検査後に合併症(膵炎、消化管穿孔)が発生することがあります。



どんな治療法がありますか？

無症状胆石の場合は経過観察されますが、小結石が多数ある場合、胆嚢壁が肥厚している場合、結石が胆嚢管に嵌頓している場合など無症状でも治療の希望があれば治療することがあります。

経口胆石溶解剤はコレステロール胆石で、直径1cm以下かつ胆嚢がよく収縮される方の治療法として選択されることがありますが、胆石消失率は30%と低く、治療効果は不確実であります。

体外衝撃波結石破砕術 (ESWL) はコレステロール胆石で、直径2cm以下かつ胆石の数が3個以内で、よく胆嚢が収縮される方に選択されます。胆石消失率は50%前後ですが、治療後の腹痛発作、急性膵炎の合併や胆石再発の問題から一般的治療ではありません。

外科的治療が最も一般的で胆嚢を胆石と共に摘出します。1990年代初め頃より腹腔鏡下胆嚢摘出術が施行され、現在では標準的治療であります。1cm以下の大きさの創部が3~4ヵ所のみで、術後の回復が早く、術後1週間での職場復帰も可能となりました。ただし腹腔鏡下胆嚢摘出術が技術的に困難な場合は、開腹胆嚢摘出術(創部約10cm)が施行されます。

● 病院1，2階のリフォーム工事について ●

患者様には病院内のリフォーム工事により、大変ご不便ご迷惑をおかけしております。当院は昭和49年に開院し、築後30年以上を経過しているため、経年使用による建物及び各種配管類の劣化が始まっていることから、平成19年より平成21年にかけて病院1，2階のリフォーム工事を実施しております。

工事は、病院1，2階を大きく4つの工事エリアに分け進めております。平成20年12月現在、計画の約2分の1を終え、手術室、厨房、放射線、事務室、眼科、耳鼻咽喉科の改修工事が終了し、眼科、耳鼻咽喉科外来が新しい場所に移転しました。



1階正面カウンター部



手術室



栄養部厨房

リフォーム工事は、建物内装の美装もさることながら、診察室スペースを広く、室数を多くすることで、プライバシーを今以上に保ち、少しでも患者様の診療環境改善に寄与できるよう計画いたしました。当然トイレ等については、清潔に保てるような構造、身体に負担のかからないよう手すり付洋式トイレに変更することを計画しております。



車椅子対応多目的トイレ



一般トイレ

今後については、外来部のリフォームを本格的に始めます。すでに1階西側にある脳神経外科、胸部外科、第二外科、整形外科、口腔外科、膠原病外来を仮の診察室へすべて移転させ、工事を進めております。仮の移転先は、脳神経外科が1階西口付近、胸部外科が2階放射線部前、第二外科が睡眠医療部の前となっています。整形外科と口腔外科は旧リハビリテーション科内を改修し新たな場所として移転いたしました。また、膠原病外来については、2階の旧健康管理科へ、健康管理科は本館最上階の8階西病棟にそれぞれ仮移転しました。

次に2階西側外来を2つの工事エリアに分け工事を進める予定であり、西側の外来部のリフォーム工事が完了するのは、来年5月ぐらいになる見込みです。

さらに1階中央部の外来のリフォームを実施し、21年12月ごろ外来部全体が終了する予定です。

場所がわからない等、お困りの時には遠慮なく職員におたずねください。



外来待合ホール完成イメージ

冬季に流行するインフルエンザとノロウイルス感染を防ごう

感染防止対策課

インフルエンザの感染予防は、「**予防接種**」「**咳エチケット**」「**手洗い・手指消毒・うがいの励行**」の3つ。冬の感染性胃腸炎で一番多いノロウイルスの感染予防は、「**手洗い**」「**吐物の適切な処理**」「**食中毒の予防**」の3つ。両疾患とも有効なのは手洗い・手指消毒などの手指の衛生です。

* インフルエンザの感染予防は

1 **予防接種**：インフルエンザワクチン接種はインフルエンザウイルスの感染を防止し、発症や重症化を防ぐことが期待できます。学校や福祉施設、医療施設などの関係者、呼吸器系の基礎疾患のある方には特に勧められています。接種後約2週間程で効果が現れ、それは約5ヶ月間持続します。流行期が通常12月～3月のため、10月～12月上旬までに接種を済ませましょう

2 **咳エチケット**：咳やくしゃみが出る場合は、ティッシュで口元を覆う。必要に応じてマスクを着用しましょう。

3 **手洗いとうがいの励行**：外出から帰ったら、手洗いとうがいを行う習慣を身につけましょう。また、咳やくしゃみを手で覆ったときにも手を洗いましょう

* ノロウイルスの感染経路は

◎感染した人の便や吐物に触れた手指を介して口に入った場合

◎便や吐物が乾燥し細かな塵となり、その塵と一緒に体内に入った場合

◎感染者が不十分な手洗いで調理を行い、その食品を介して感染が拡がる場合

◎カキやシジミなどの二枚貝を、生や不十分な加熱処理で食べた場合

感染予防のポイント

1. 手を洗うことが最重要。排便後、調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
2. 便や吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。(エプロンはビニール大袋で代用)
3. カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。(中心温度85℃1分以上の加熱が必要です)
4. 調理器具等は0.02%の次亜塩素酸ナトリウム：商品名ハイター、漂白剤の一種、または熱湯(85℃以上)で1分以上の消毒が有効です。衣類や物品の消毒は可能ですが、手の消毒には不適です。
5. ノロウイルスは、100個以下の量でも感染が成立する感染力の強いウイルスで、有症状の便1g中に1億個以上、吐物1g中に100万個以上が含まれているので、扱う場合には十分な注意が必要です。



感染予防の第一歩は手洗いから

「第4回獨協医科大学病院連携医療懇話会総会」開催

11月7日（金）、予てより準備を進めて参りました「第4回獨協医科大学病院連携医療懇話会総会」を、宇都宮グランドホテルにて開催いたしました。

当会は当院の理念であります「連携医療の構築」として、病診、病病連携を構築すること、すなわち地域の医療機関の先生方との『顔の見える連携』を行うことを目的として毎年開催しております。

今年の講演会テーマは「生活習慣病」で、内分泌代謝内科、循環器内科、心血管・肺内科、それぞれの分野より講演を行いました。講演会後の情報交換会におきましては病院長・副院長をはじめ、学長、副学長、各診療部長そして医局長や外来・病棟医長の先生方を中心に地域の医療機関の先生方と親睦を深め患者様へより良い医療を提供するための情報交換を行いました。

講演テーマ「生活習慣病」

「メタボリックシンドロームについて（糖尿病・高脂血症を中心に）」

内分泌代謝内科 服部 良之 教授

「臓器障害の抑制を目標とした高血圧治療（慢性腎臓病（CKD）対策を中心に）」

循環器内科 石光 俊彦 教授

「生活習慣病としての虚血性心疾患治療」

心血管・肺内科 阿部 七郎 准教授



服部良之教授



石光俊彦教授



阿部七郎准教授



院外処方せんを希望される患者様へ

—院外処方せんを希望される患者様は主治医までお申し出ください—

医薬分業率の全国平均は55%を超えています。栃木県も院外処方せんを発行する病院・診療所が増えてきていますが全国平均には及ばず約47%にとどまっています。当院では以前から希望される患者様には院外処方せんを発行しておりますが、発行率は0.1%（年間約300枚）と大変低い状況です。

薬剤部では1日約1,500枚の外来処方せんを調剤しているために、薬の待ち時間が長くなる傾向にあります。ご自宅の近くなどに保険薬局があり、院外処方せんのほうが便利な患者様は院外処方せんによる調剤も可能です。院外処方せんの発行を希望される患者様は主治医にお申し出ください。

医療用PHSの使用について

当院では、平成20年11月より患者様への迅速な対応及びサービス向上を目的として、医療用PHSの使用を開始いたしました。

この医療用PHSは、医療機器への影響に配慮した極微弱な電波を使用しております。

なお、一般の携帯電話と区別するため、医療用PHSには赤色の『医療用ストラップ』を付け使用しておりますので、ご了承ください。



一般の携帯電話のご使用については、

- ① 本館1階コーヒーショップ前
 - ② 新館1階エレベーターホール前
- に使用可能エリアがありますのでご利用ください。

ボランティア募集

情報・図書コーナーでは、ボランティアスタッフを募集しております。

- ◆本が大好きな方（図書館勤務経験者歓迎）
- ◆整理整頓が得意な方
- ◆PC操作ができる方（主にインターネット検索）
- ◆コミュニケーションが大好きな方、是非ご協力下さい。

※ 随時受付しております。詳細はお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

獨協医科大学病院 連携医療部

TEL：0282-87-2383

FAX：0282-86-5446

E-mail：renkei@dokkyomed.ac.jp



ご存知ですか？

当院では専門看護師や認定看護師が活躍しています



今回からシリーズで専門・認定看護師の紹介をさせていただきます。
3次救急医療を担っている当院の救命救急センターや集中治療室で
救急看護認定看護師や集中ケア認定看護師が活躍しています。



はじめまして、救急看護認定看護師の横地瑞です。
私は、救命救急センター病棟で勤務をしています。
ここは具合の悪くなった方が救急車やヘリコプター
で搬送され、初期診療が行われる部門と、その後、入
院・治療を行う病棟に分かれています。搬送された患
者様が合併症を少なく救命することができるよう初期
診療から退院までの看護を行っています。



これなら安心！！



こんにちは、集中ケア認定看護師の佐藤晃子です。
私は集中治療室に勤務をしています。

ここは侵襲の大きな手術の前後の患者様や院内で急変され
た患者様に集中的な治療を行っている病棟です。入院された
患者様の重症下の回避と1日でも早く日常生活に戻ることが
できるよう早期からの種々のリハビリテ
ーションを中心に看護を行っています。



そのほか、病院内外の活動として、新人看護師や離職された看護師の方を対象に心肺蘇生法や観察の技術についての講習会などをして皆様に質の高い看護が提供できるよう活動しております。

救命救急センター病棟や集中治療室にご入院の患者様、ご家族が安心して治療に専念できるよう心がけております。お困りなことがございましたらどうぞご相談ください。

* 専門の教育・研修を受けた看護職への資格認定は日本看護協会が行っております。

編集後記

病院には薬の名前や検査の名前、人の名前など似ている名前がたくさんあります。

たとえば有名な「パファリン」という薬。パファリンAの主成分はアスピリンで、小児用パファリンCⅡの主成分はアセトアミノフェン、パファリンルナはイブプロフェン、アセトアミノフェン、無水カフェインの3種類、パファリンプラスはアスピリン、アセトアミノフェン、無水カフェイン、アリルイソプロピルアセチル尿素の4種類。名前は似ているけれど成分は違うので要注意。「名前が似ている」ということは、裏を返すと「何かが違う」ということ。

神奈川県で患者取り違え事故が起きた1999年は「医療安全活動元年」とも言われ、今年は医療安全活動10年目の節目の年。2009年も無事故で安全な年になりますように。
(T I)



獨協医科大学病院だより第23号

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

TEL 0282-86-1111(代表) FAX 0282-86-4775

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日／平成21年1月1日

編集・発行／獨協医科大学病院広報誌委員会

印刷／(株)松井ピ・テ・オ・印刷